



〈学校の教育目標〉

- よく考える子
- 力をあわせる子
- 体をきたえる子

〈児童数〉

359名
(家庭数 290)

発行 新潟市立沼垂小学校 広報部
TEL(247)5326 FAX(247)5327

ホームページ

<http://www.nuttari.city-niigata.ed.jp/>

学校のページを
随時更新しています。
是非ご覧ください。



今月号の内容

- 巻頭言
- 運動会
- 学校教育ビジョン
- むし歯予防について



いじめと向きあい早期解消を進める

校長 門倉 純 一

沼垂校には、三五九名の子どもが在籍しており、個性が一人一人異なっています。

ですから、時には考えが対立したり、自分の欲求が満たされなかつたりすることもあります。その時に、相手に対して不適切な行いをする場合があります。それがいじめです。

いじめ問題がいつでもどこでも誰にでも起こり得ることから、沼垂校では、さまざまな対応策を進め、いじめと向き合っています。

一つ目は、いじめ防止プログラムの取組です。これは、昨年から実施していることで、学級活動や道徳の時間に、具体例をもとにいじめを許さないことを学べる内容になっています。学級活動の内容を見つめると、まず初めに日本ではいじめを防ぐための決まりがあることを学びます。

いじめ防止対策推進法

第二条 いじめとは、子どもが、あることものの心や体、持ち物などを攻撃することで、攻撃された子どもも心や体が傷ついたり、被害を受けて苦しんだりすることである。インターネットでの攻撃もいじめである。(一部新潟市教育委員会改作)
第四条 児童等は、いじめを行ってはならない。

また、どんなことがいじめになるのか、いじめられた人がどんな気持ちになるのかも学びます。これらは、一年生も理解できることで、いじめはいけな

いことという意識が確実に身に付いていきます。

二つ目は、トーキングタイムの取組です。年に三回の「仲間との関わりアンケート」を実施した後に、子ども一人一人と学級担任がアンケート内容を確認したり、いじめなどで困っていないか相談したりする時間(トーキングタイム)を設定しています。大人が子どもの声を聞くことで、いじめの早期発見や子ども心の安定につながります。

三つ目は、「共感力」を発揮することです。これは、今年度沼垂校の目指す資質・能力の一つで、いじめを生まない環境づくりに役に立つと考えます。具体的には、次のような姿です。

他の人と助け合う 教え合う
相手に気持ちを届ける
温かく見守る 手伝う
友達に拍手する 一緒に仕事をする
寄り添う 友達や仲間を応援する
等

このような相手の気持ちを考え、自他の違いやよさを認め合い、共に成長し合う姿が広がれば、たとえいじめ事案が発生しても、確実に解決に向かっていけるでしょう。

この三つを中心にして、沼垂校は、いじめの早期発見 早期解決に全力を尽くします。具体的なことについては、沼垂校ホームページの「学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。